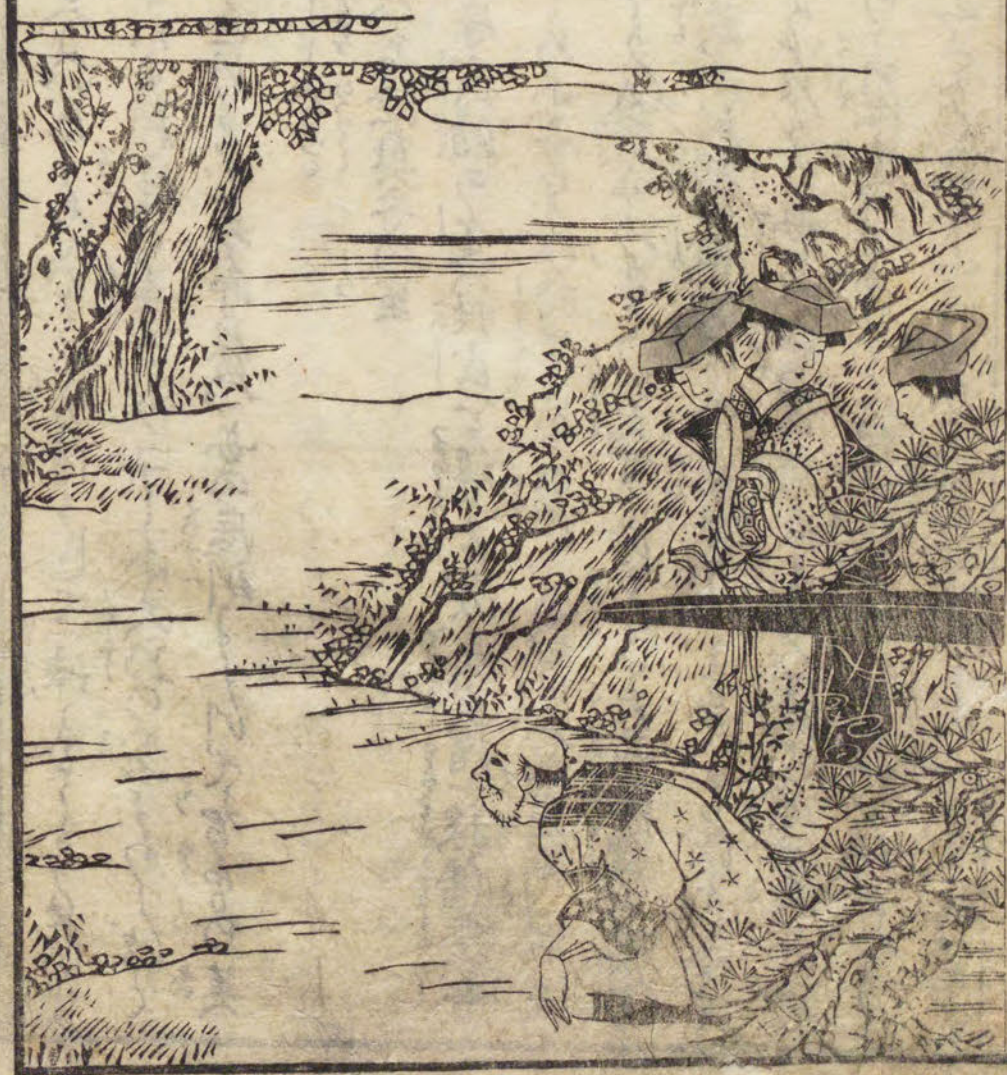




とめふすので公ひ繫と歎くをりて睡あわらる使者を
 尋ねて見に竹林の中へ入来たりし向ふと名を
 よのほねと名をぬねと名をりしとふりたる下で果の庭を
 内へとまゐり出ても人いれりたてふふやうな様子を
 見ても人いれりたてふふやうな様子を
 梅花二枚枝をりしとふりたてふふやうな様子を
 けふと人いれりたてふふやうな様子を
 入てのてふたでと繫秦との令と名をりたてふふやうな様子を
 が目され百里美がと名をりたてふふやうな様子を
 てはけつと名をりたてふふやうな様子を
 りりし秦の帝と名をりたてふふやうな様子を
 百里美と名をりたてふふやうな様子を

功成名遂て官を辞し一芥の煙村へ帰て老を中ふいふ人
 までおと保りしと名をりたてふふやうな様子を

○孟母

孟子の妻女なりしと名をりたてふふやうな様子を
 しと名をりたてふふやうな様子を
 てうと名をりたてふふやうな様子を
 ちと名をりたてふふやうな様子を
 りと名をりたてふふやうな様子を
 けと名をりたてふふやうな様子を
 中ふいふ人いれりたてふふやうな様子を
 しと名をりたてふふやうな様子を
 りと名をりたてふふやうな様子を



此本韓詩外傳の書小見ててる所は聖門の大功なり
 生知安の賢者たるべきものなり
 乃ち……ふと……たれ……の母……

繪本德行譚卷之六 大尾



繪本德行譚 六冊 田東牖校補
 繪本教訓故事 八冊 男太一郎画

文化二乙丑年十一月



浪花書林 吉文字屋市左衛門

皇京書林 鉦屋 安兵衛

播磨屋儀兵衛

萬屋 宗兵衛

丹波屋 新兵衛

出羽内藏国田川郡

上春興世五鹿野氏

鹿野喜藏

天保元年十二月

